



「無伴奏」
2002年再興第87回院展 内閣
総理大臣賞受賞作。

宮廻正明 (みやさこ・まさあき)

1951年島根県生まれ。
79年東京芸術大学美術学部デザイン科卒業、81年大学院美術研究科保存修復技術修了。
95年文化財保存学(日本画)助教授、2000年教授。日本美術院同人。
作品「無伴奏」に描かれているこの建物は、中国瀋陽のキリスト教会で、現在はほとんど
と崇拝されておらず、歴史的建造物として残されている。中に入ると窓から差し込む光
が壁面をわが物顔に散歩しているようにも見える。

東京芸術大学広報誌 藝大通信第5号

編集発行 東京芸術大学広報委員会
編集委員 野田暉行(副学長・音楽学部作曲科教授)
長谷部浩(美術学部先端芸術表現科助教授)
渡邊健二(音楽学部器楽科助教授)
永井隆夫(事務局長)
アートディレクター 連見智幸(美術学部デザイン科助教授)
制作 株式会社 平凡社
発行日 平成15年3月31日

お問い合わせ先
東京芸術大学総務課
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
電話 03-5685-7509 FAX03-5685-7760
e-mail jkikaku@off.geidai.ac.jp URL http://www.geidai.ac.jp

第5号目次

- 3 17 **特集 明日を奏でる奏楽堂**
- 4 12 **奏楽堂に期待するもの**
福原義春(株)資生堂名誉会長 / 渡辺和(音楽ジャーナリスト)
座談会 これからの奏楽堂を考える
實相寺昭雄 / 多田羅迪夫 / 吉井澄雄 / 伊藤隆道
- 13 15 **奏楽堂がわかる6つのポイント**
瀧井敬子
- 16 17 NEWS 2002.10~2003.2
- 18 19 **タイムカプセルに乗った芸大**
【第5回】1941~1950年
佐藤道信 東京美術学校1944年
瀧井敬子 東京音楽学校1949年
- 20 21 **開かれた大学**
附属図書館貴重資料データベース
ヴィジュアル版芸大創世紀 馬場純子
- 22 23 **学生のいる風景**
芸大メーリングリスト
新しいメディアが 出会いの契機を広げる 藤本徹
- 24 27 **芸大短信**2003.4~2004.2
- 24 25 春から夏への大学美術館
韓国国立中央博物館所蔵 日本近代美術特別展
- 26 27 春から夏への奏楽堂
上野の森 音楽むかしばなし~名曲メイキング芝居~
/世界のマエストロを迎えて第2回

藝大通信

No.05

TOKYO GEIDAI
東京芸術大学広報誌

第5号刊行にあたって

芸大奏楽堂は日本洋楽史の象徴といってよい存在です。明治時代に建設された初代の奏楽堂は、数々の本邦初演をはじめ、創生期の音楽界に重要な役割を果たしてまいりました。

その奏楽堂が、20年ほど前、老朽化のため明治村に移設されることになり、社会的問題になったのは記憶に新しいところです。各位の努力と台東区長の大英断によって難問は解決し、今、この由緒ある建物は、上野公園の中でなおかつ現役ホールとして^{かくしゃく}活躍しております。

それも今は昔のこと。その後、平山学長の前回就任時に現在の新しい奏楽堂建設が決定され、近代的装備を持った大ホールがオープンしました。今年是新装5周年です。

新しいホールはまた、新しい意義のもとに新しい歴史を歩まなくてはなりません。今号は、今まだ模索の中にある、このホールの未来への役割を探りつつ、新しい奏楽堂の姿をご紹介します。

どうぞこれからも、美術館ともども芸大の核としての進展を見守っていただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。私達も新しく生まれ変わる大学にふさわしい新しい発信に向けて努力してまいります。

藝大通信編集委員長
副学長(企画担当)
野田暉行